

事業所名

児童発達支援放課後デイサービスキッズウェイブ

放課後デイサービス支援プログラム

作成日

令和6年

8月

1日

法人（事業所）理念		共に生きる 四つのキーワード「目標」「努力」「発見」「自信」を大切にスモールステップで「自己肯定感に裏付けられた自信」と「やる気」を子どもたちの心を育む。		
支援方針		子どもの「わかる」「できる」「たのしい」をみんなで大切にし、あたたかい発達支援、療育を進める。		
営業時間		10:00～19:00(平日) 8:00～17:00(土、祭日、夏季休暇等)	送迎実施の有無	あり なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握や生活習慣の観察を通して、手洗いや排泄の指導や食にかかわる具体的な指導をし、改善を促す。 施設でのタイムスケジュールを明確にすることを通して、見通しをもって行動するとともに、自分でできる行動を増やしていけるように促す。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> プレイルームを使つての様々な運動を通して、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上と主体的に運動しようとする意欲を促す。 折り紙や簡単な工作、ひも通しなどの簡単な作業を通して、指先の感覚を養い、進んで制作しようとする意欲を促す。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知や行動の手掛かりとなる遊びや活動を通して、日常生活に必要な概念の形成を図ることを促す。 一人一人の認知やこだわりの特性を理解し、対応することを通して、適切な認知や行動を促す。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 集団指導の中で仲間とかかわるゲームや学習を通して、コミュニケーション能力を身に付け、人とかかわろうとする気持ちを養う。 障害の特性に応じ、子どもに合った支援方法を工夫することを通して、読み書き能力の向上を図る。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団での活動や友達とかかわりを通して、ソーシャルスキルを実践的に学ぶことができるように促す。 挨拶やルール、マナーなど社会生活で必要なスキルを遊びや活動を通して学びながら、実生活でも使っていくことができるよう促す。 		
家族支援		定期的なモニタリングにや日常の送迎の場での保護者との人間関係の構築を通して、家族に寄り添った適切な指導、助言を行う。 発達検査に基づいての専門家からの支援の機会をもつ。	移行支援	発達検査、アセスメントや日常記録を通して、将来を見据えての就学指導への適切なアドバイスを行う。
地域支援・地域連携		学校や子育て支援課等の関係機関との連携を通して、訪問や支援会議の場をもつ。 地域の施設と連携して、行事に参加する。	職員の質の向上	定期的な職員研修の資料を共有することを通して、共に学ぶ姿勢を大事にする。 児発管の資格取得などスキルアップを目指す。
主な行事等		花見、映画鑑賞、七夕、博物館見学、玉ねぎ堀り、音楽鑑賞、座禅体験		